

広がり、変わる緩和ケア

現場の戸惑いに向き合い、実践・継承・チームづくりを考える



“これでいいのだろうか”と迷う現場へ。

変わる緩和ケアの中で、何を大切にし、どうつないでいくかを、実践から考える対面セミナーです。



2026年 **9月26日** **土** 10:30～15:30



コンファレンススクエアエムプラス

東京都千代田区丸の内／東京駅丸の内南口徒歩2分



緩和ケアに携わる医療従事者（全職種参加可）

こんな方におすすめです

- ✓ 緩和ケアの変化に戸惑いを感じている
- ✓ 現場での実践やチームでの支え方に迷っている
- ✓ スタッフ育成やケアの継承に難しさを感じている
- ✓ 病棟・在宅・施設・地域での役割を考えたい

午前：レクチャー 3つの実践報告

1 人が変わっても揺れない “ホスピス緩和ケアの核”

緩和ケア病棟のチームづくり・看取りを支える実践・地域連携

柏谷 優子

東京西徳洲会病院（看護部）
日本ホスピス緩和ケア協会理事

2 暮らしのなかの緩和ケア 在宅・介護施設・ホスピス住宅の強み

梅田 恵

緩和ケアパートナーズ代表（看護師）

3 一般病棟と地域に広げ、共に育むケアへ コンサルテーションによる基本的緩和ケア支援の試み

神谷 浩平

MY wells地域ケア工房代表（医師）

午後：グループワーク 4つの事例検討

現場ごとの迷いを持ち寄り、
明日からの実践を考えます

1 専従医師不在の 緩和ケア病棟のケア



2 新入スタッフへのケアの継承



3 ホスピス型住宅における 緩和ケアの実践



4 一般病棟への介入と支援



参加費 **無料**



要事前申込



定員 **150名**



プログラム・開催概要

変わる現場で、緩和ケアをどう支え、どう広げるか。
講義と事例検討を通して、実践のヒントを持ち帰る1日です。



プログラム

10:00～ 受付

10:30～12:15 【レクチャー】

変わる現場で、緩和ケアを
どう支え、どう広げるか

- ・ 柏谷 優子 氏
- ・ 梅田 恵 氏
- ・ 神谷 浩平 氏



休憩：約1時間

お弁当の提供はありません。
各自で昼食をお取りください。

13:15～15:30 【グループワーク・事例検討】

4つの事例を通して、現場ごとの
迷いと実践の工夫を考える

事例テーマ

- 1 専従医師不在の緩和ケア病棟のケア
症状緩和が困難な事例に対応するチーム力の育成
- 2 新入スタッフへのケアの継承
緩和ケア病棟に配属されたばかりの看護師が、
患者と家族のケアに困難を感じる時
- 3 ホスピス型住宅における緩和ケアの実践
暮らしの場で、緩和ケアニーズに気づき、
支える体制をどうつくるか
- 4 一般病棟への介入と支援
衰弱する患者と不安が強い家族への多職種アプローチ

開催趣旨

非がん疾患への対応、在宅緩和ケアやホスピス型
住宅の広がり、病棟機能の変化などにより、緩和
ケアの現場は大きく広がり、多様化しています。

その中で、実践のあり方、チームでの支え方、
次の世代の育成や継承に悩みを感じている方も
少なくありません。

本セミナーでは、多様な現場での実践報告と
事例検討を通して、現場の悩みを共有しながら、
これからの緩和ケアの実践やチームづくり、
人材の育成と継承についてともに考えます。

参加案内



対象：緩和ケアに携わる医療従事者
(全職種参加可)

特に、今後の緩和ケアのあり方や実践、
スタッフ育成に迷いや難しさを感じている方



参加者数：150名

1施設からのお申し込み人数の制限はございませんが、
お申し込み多数の際は、お断りする場合もございます。



申込期間：

2026年5月15日(金)～

2026年9月1日(火)17:00



参加費：無料



参加申し込み

右のQRコードからお申し込みください。
参加が確定した方には、締め切り後にメールで
詳細をご連絡いたします。
(定員になり次第、受付を締め切ります)



申込 QRコード



【主催】特定非営利活動法人 日本ホスピス緩和ケア協会

【共催】公益財団法人 日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団

問合せ先：〒259-0151 神奈川県足柄上郡中井町井ノ口1000-1

✉ Mail：info@hpcj.org ☎ Tel：0465-80-1381